

自動車リサイクルの高度化等に資する調査・研究・実証等に係る助成事業  
〔2025 年度 継続審査 採択結果〕

2025 年 4 月

公益財団法人 自動車リサイクル高度化財団

事業区分	事業名	代表事業者	共同事業者	事業期間	概要
AI/IoT を活用した、自動車リサイクルにおける中古パーツの利用促進検証事業	EV の電池循環を支援する価値顕在化・流通システムの構築	カウラ株式会社	株式会社アクト 国立大学法人東京大学 株式会社日本総合研究所	3 年 (3 年目)	EV 電池の循環市場バリューチェーンを構築するために、電池価値顕在化のための計測診断と CO2 管理を効率化する AI/IoT アプリケーション、および、多数の主体が電池価値を取引可能な流通プラットフォームを開発する。
ASR の低減等に資する再生材の基礎技術研究・開発事業	普通乗用車廃タイヤにおけるマテリアルリサイクルシステムの構築	株式会社山形県自動車販売店リサイクルセンター	特定非営利活動法人山形県自動車公益センター	3 年 (2 年目)	普通乗用車の廃タイヤは「合成ゴムであること」と「ポリエステル繊維除去が困難であること」から、大半がサーマルリサイクルとなっている。今後の温暖化防止対策を見据えてマテリアルリサイクル転換のための実証実験を行う。
ASR の低減等・自動車 3R の高度化に資するリサイクルシステムの事業性評価事業	資源回収インセンティブ実装検討事業	一般社団法人日本自動車リサイクル機構	株式会社エコアール 協和産業株式会社 いその株式会社 株式会社ヒラキン 株式会社矢野経済研究所	2 年 (2 年目)	中小の解体事業者でも資源回収インセンティブに参加可能となるようにいくつかのコンソーシアム形式及びその工程別管理・実作業内容について机上検討及び小規模の実トライに基づき決定を行う。最終的にパターン別コンソーシアムの管理方法や実作業内容集の作成を目指す。
	自動車リサイクルにおけるアルミニウムの低炭素型 CE 実証	株式会社アビツ	株式会社 UACJ 株式会社矢野経済研究所	2 年 (2 年目)	異物除去が可能な XRT 選別装置導入に加え、アルミを合金種ごとに選別できる LIBS 選別装置を導入し、展伸材 to 展伸材によるリサイクル部品が自動車部品として使用が可能か検証する。
	自動車ガラスを対象とする板ガラス向け再生原料基準の制定及び品質管理実証	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社	一般社団法人板硝子協会	2 年 (2 年目)	自動車ガラスの回収および板ガラスへの再資源化に焦点をあて、板ガラス向け再生原料基準及び自動車ガラス回収ガイドラインの制定と、中間処理業等における品質管理を伴う処理プロセス（解体、回収、保管等）の実証を行う。

※上記は採択時の状況に基づく内容であり、内容に変更が生じることがあります。